



学校報 「二中の木」



令和6年9月9日(月)
第12号 文責：校長 工藤 真弘
TEL：52-5138

全国学力・学習状況調査結果 その2

～ ICT活用はダントツ、家庭学習時間の強化は全校の課題 ～

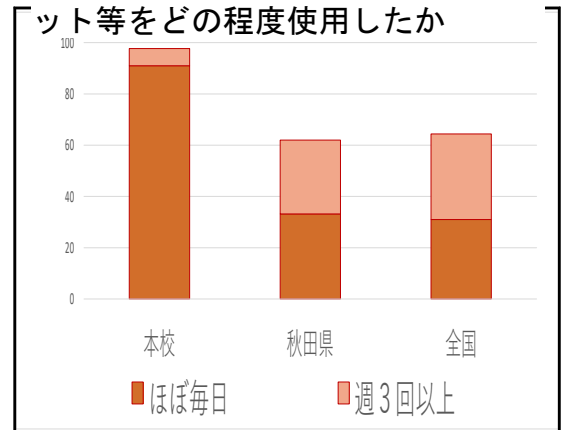
生徒質問紙（アンケート）結果②「タブレット活用」

秋田県は、教科の結果が全国トップレベルでも、ICT活用は後進県です。授業でのタブレット活用率も未だに低い状況です。一方、本校の活用率は全国平均をも大きく上回っています。

文部科学省は「令和の日本型教育」というこれからの教育の方向性を示しており、ICT活用は大前提です。授業でタブレットを使わなくてもテストの点数は伸びますが、使わなければこれからの時代に必要な力は育ちません。

ですから、活用するしないは将来的に教育格差として表出すると考え、本校では重視しています。

1、2年生で受けた授業で、タブレット等をどの程度使用したか

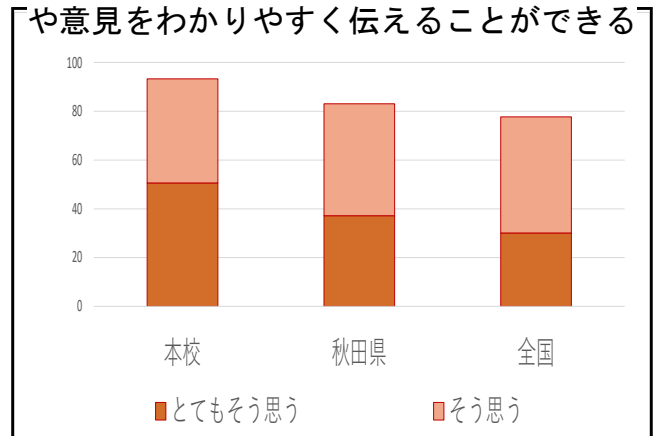
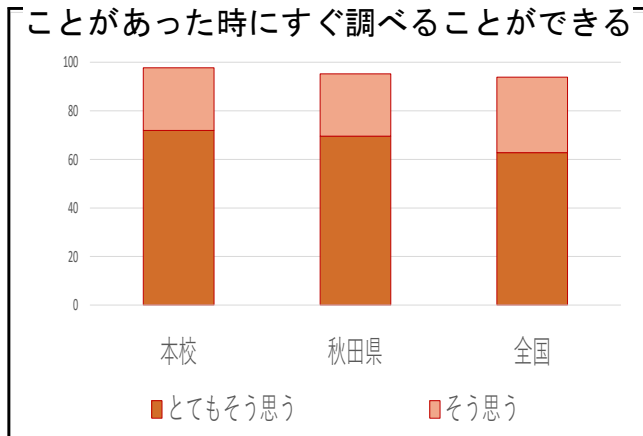


生徒質問紙（アンケート）結果③「本校の授業づくり」

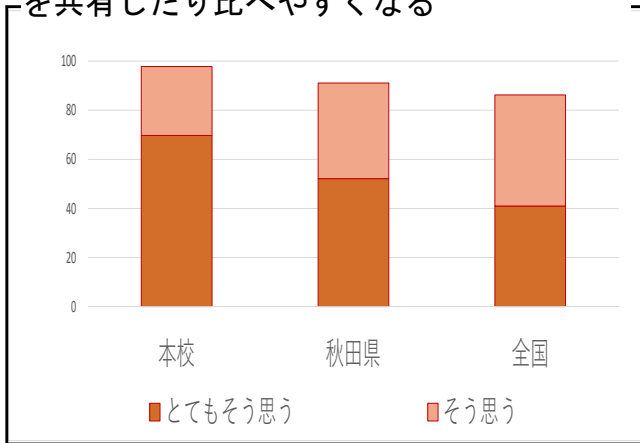
これからは、一人一人が自分の考えをもち寄りながら、みんなでよりよい方向性を話し合い、課題を解決していく力、変化を生み出す力が非常に大切です。その力を育むときに、ICTを使うと非常に効果的であるという考え方です。タブレットはただ使えばいいということではなく、効果的に使ってこそ力がつくということです。

タブレットで何かを調べるのは全国でも当たり前（グラフ①）本校の授業では、自分の考えをまとめたり、みんなで学び合ったりすること（②～④）に重点を置いています。

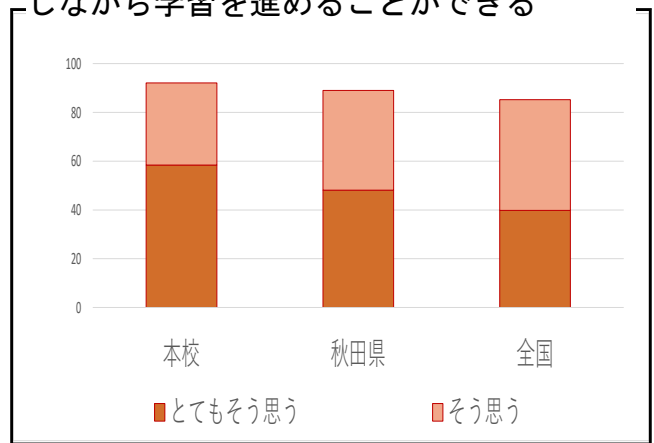
①タブレット等を活用すると、わからないことがあった時にすぐ調べることができる
②タブレット等を活用すると、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる



③タブレット等を活用すると、友達と考えを共有したり比べやすくなる



④タブレット等を活用すると、友達と協力しながら学習を進めることができる

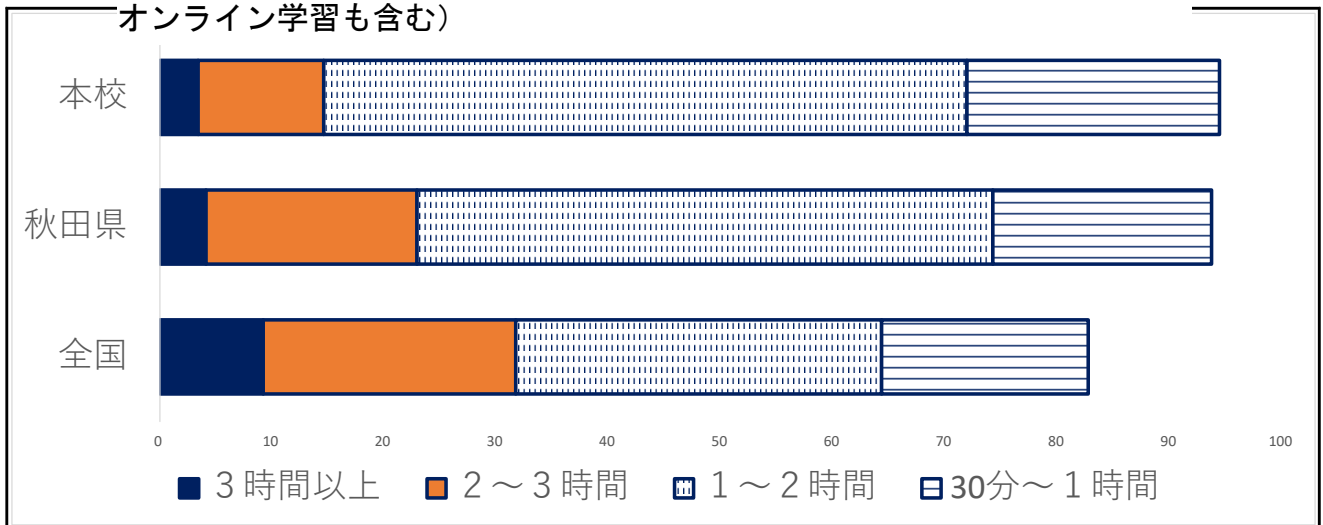


生徒質問紙（アンケート）結果④「家庭学習時間」が全校の課題

一方で、家庭学習（塾や家庭教師、オンライン学習も含む）については、下のグラフのように、全く勉強しない生徒は少ないのですが、勉強時間で見るともう少しがんばってほしいところです。3年生は部活動が終わっているので、この結果よりも時間は増えているはずですが、今の3年生ならもう一段ギアを上げられると思います。

7月に全校で行ったアンケートでも同様の傾向でしたので、1、2年生も含めて見直したい項目です。まずは、もう30分長く勉強するよう始業式で伝えています。

平日、学校の授業以外に1日当たりどれくらい勉強するか（塾や家庭教師、オンライン学習も含む）



能代山本秋季総体【野球】

○ 1回戦

能代二・能代南	0	0	0	0	0	0
能代一・八峰	7	4	3	4	×	18

能代山本中学校英語暗唱弁論大会

◇ 暗唱の部

優勝 堀内 千奈

全県秋季大会【水泳】

◇ 男子 団体3位

○ 100M背泳ぎ	2位	櫻田莉大
○ 200M背泳ぎ	2位	櫻田莉大
○ 100M平泳ぎ	4位	鈴木煌太
	7位	齊藤悠仁
○ 200M平泳ぎ	3位	鈴木煌太
	7位	齊藤悠仁
	8位	佐々木優虎
○ 400Mフリーレー	3位	能代二
○ 400Mメドレーレー	3位	能代二